

デュアルクラッチトランスミッションフルード

MULTI DCTF

MOTUL「MULTI DCTF」はデュアルクラッチトランスミッション用フルードであり、高性能なベースオイルはスムーズな変速と優れたトルク伝達を達成致します。また湿式・乾式両デュアルクラッチ機構にも対応し、多くのデュアルクラッチ搭載車両に適合します。

- 化学合成オイル (Technosynthese®)
- 1L ボトル / ¥3,672 (税込)
※1ケース 12本入り



MULTI DCTF



*Huile de boîte
à double
embrayage*
*Dual Clutch
Transmission
fluid*

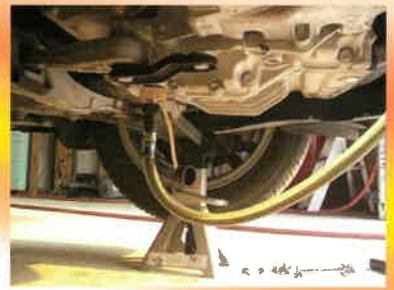
MOTUL®

Technosynthese® 1L (1.05 Quart)

MOTUL

デュアルクラッチトランスミッションフルード MULTI DCTF

デュアルクラッチトランスミッションは「ダイレクト感のある加減速」や「燃費面で有利」等のメリットがあります。MOTUL「MULTI DCTF」は耐ジャダー性、トルク伝達機能、ギア保護性能に優れたデュアルクラッチトランスミッションフルードです。



DCT(デュアルクラッチトランスミッション)の特徴

基本的な構造はマニュアルトランスミッションと似ており、エンジンからの動力をクラッチを介してギアに伝え、ギアの組合せを変えて車軸に伝達しています。名称はクラッチを2系統持つことに由来しています。

DCTではクラッチとギアが奇数段・偶数段の2系統に分かれており、交互に繋ぎ変えながら変速を行っています。変速時には次のギアが待機状態（例えば2速走行時には、1速または3速のギアが待機している）でありもう1系統のクラッチに繋ぎ変えることで変速に要する時間が極めて短い事が特長です。

トルクコンバータを用いないためその出力損失がなく、またCVTより制御油圧発生のロスが少ないため「燃費面で有利」、「ダイレクト感のある加減速が可能で運動性能、燃費性能が向上する」などのメリットがあります。

地球環境への適応が一層求められている現代の自動車業界において、そのメリットがユーザーに認知されたことにより急速に採用が拡大しているシステムです。

デュアルクラッチトランスミッションフルード (DCTF) 交換の必要性について

DCTFもオイルの一種であり、使用すればするほど劣化するため、DCTFに求められる性能を維持し続ける事は困難です。性能を維持するために定期的な交換をお勧めします。

● 主要対応規格

| OEM Group (車種) | Specification (仕様) |
|----------------|---|
| VW(VAG) | |
| AUDI(VAG) | G052 182 |
| Seat(VAG) | TL52 182 |
| Skoda(VAG) | |
| Mercedes Benz | MB236.25 |
| BMW | BMW DCTF-1 Part Number 83 220 440 214 |
| Peugeot | PSA Part Number 9734 S2 |
| Citroen | |
| Ferrari | TF DCT-F3 |
| Ford | WSS-M2C-936-A |
| Porsche | Part Number 9734 S2 |
| Renault | BOT 450 |
| Volvo | BOT 341 |
| Mitsubishi | Diamond Queen SSTF-1 |
| Nissan | Nissan Genuine Transmission Oil R35 Special |

※ZF承認規格「ZF TE-ML11」に適合

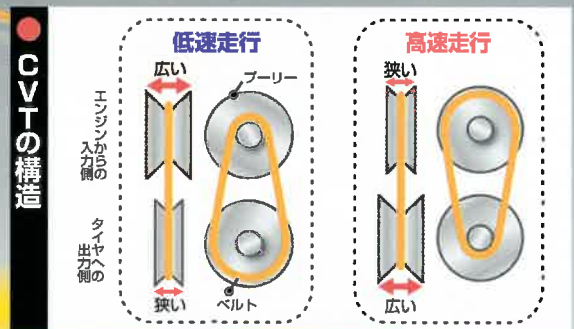
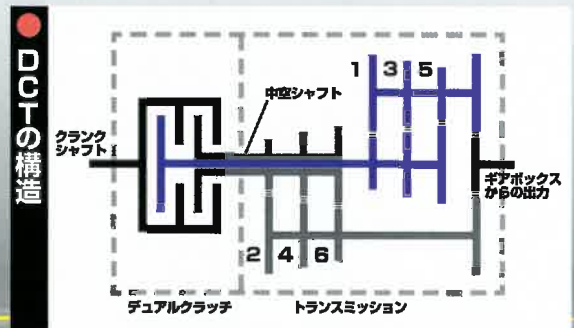
REFERENCE

● 【参考】 CVT

CVTはエンジンからの動力をトルクコンバータ等を介して受け、油圧ユニットにより走行状態に合わせたプーリー径（ギヤ比）の無段変速を行います。動力の伝達にギアを用いないため一般に大きなトルクの伝達が難しいとされ、古くはスクーターなどの小排気量エンジンと組み合わせられ普及しました。自動車用では金属ベルトの改良により1990年代後半から排気量2000cc超の中型・大型車にも採用されています。

● 【参考】 トルクコンバータ式 AT

エンジンからの動力をトルクコンバータを介して受け、油圧ユニットにより、走行状態に合わせたプラネタリ・ギヤユニットの変速を行います。そこでATフルードには駆動力の伝達の他に、変速機構を動作させるための油圧回路の作動油としての機能や、変速機構に組み込まれているギアの潤滑、クラッチプレートの摩擦力を安定化する機能なども求められます。長期間の使用によりフルードの劣化が進んだ場合には、伝達効率の低下による燃費悪化や変速ショックが大きくなる為、こまめな交換により性能を維持する事が重要です。



MOTUL